

こんな先生方の姿が生まれました!

- 各教科の授業で協働学習支援ツールを使って指導する教員が増えた。
- 協働学習支援ツールがもつ機能を知ることができた。また、TV会議システムと連携して、家庭と学校をつないで授業を行う感覚をつかむことができた。

協働学習支援ツールの基本的な操作方法と機能の使い方を体験的に学ぶ

### 実用的な場面に限定した操作方法の研修会の企画・運営

- ・ 端末操作が堪能な教員を講師として、授業内での活用を想定した操作方法を学ぶ研修を企画した。教員、生徒、それぞれの立場で操作方法を学んだ。
- ・ タブレット導入初期、端末の操作や協働学習支援ツールの操作が分からず授業での活用に不安をもっていた教師が多かった。「協働学習支援ツールを使って何ができるか」「どのように操作するのか」という実用的な研修を企画し、体験的に操作方法を学ぶことができた。



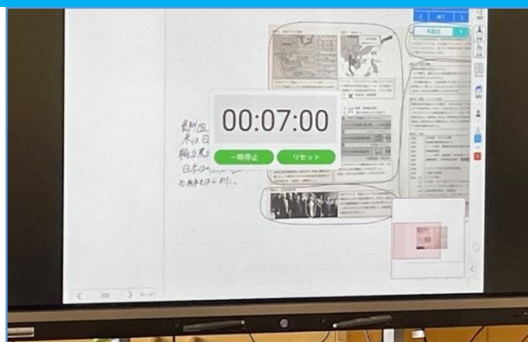
### 研修のポイント

- 機能の実用的な使い方について、授業内の活用場面に限定し、活用方法の紹介と体験を行う。
- 端末操作が堪能な教員を講師とし、協働学習支援ツールの活用の仕方や操作の仕方を学ぶ。

多様な学びのかたちを想定した機能の紹介と操作練習

### タブレット上の個人ノートを素早くミラーリング

- ・ 協働学習支援ツールのノート上に考えを書き込む場面を想定した。個人のノートを電子黒板や生徒全員の端末で表示できるようにミラーリングし、素早く全体で共有する方法を体験的に学んだ。
- ・ 教員が朱書きを入れたり、生徒が画面上で書き込みをしたりすることができることを体験的に学んだ。



### TV会議システムと連携したオンライン授業での活用

- ・ 生徒が家庭から授業に参加することを想定して、教員が操作補助なしでハイブリッド授業を行うことができることを目的とした。
- ・ 教師役と生徒役に分かれて操作体験を行った。
- ・ 教室と家庭で、同時に協働学習支援ツールのノートに書き込むことができるようにしたり、TV会議システムを接続した状態で指示したりするなど体験的な研修を行った。



### 研修のポイント

- すぐに授業で実践できるように、職員を小集団に分けて、生徒役と教師役の役割分担をして操作の機会を多くする。